

◎兵庫県立大学のインターンシップ支援事業紹介

兵庫県技術士会 I S 運営支援チーム

2015.11.23



- ◎ 企業さん。若い人材への出会いと、社会貢献を顯示する場として下さい。
- ◎ 学生さん。実践的な技術感覚を学ぶことで、将来の進路設定に生かして下さい。
- ◎ 会員技術士さん。企業とのパイプを活用し、学生に社会経験の機会提供をして下さい。

1. 経過：2005年 工学部機械システム工学科が、インターンシップ支援事業試行。
2006年～ 正規科目（1単位）化され正式支援活動開始。
2010年 インターンシップ実習講座の内容充実が評価され2単位化された。
2011年 工学部機械システム工学科に続き、応用物質科学科がオブザーバー的導入。
2013年 両学科学生の実習成果が評価され、応用物質科学科も2単位の正規科目化が実現した。
2015年 両学科合計22名が履修して企業実習を体験した。学生受け入れエントリー企業数は県下全域で46社になった。
 - ・今年はイスラム圏からの海外留学生2名も実習講座を履修し、派遣先企業には特別な受け入れの配慮をしていただき、無事終了した。
 - ・9月17日、成果報告会が会社代表者、関係の先生方、支援技術士の参加、傍聴で開催され、今年度支援事業は成功裏に終了した。

2. 対象：兵庫県立大学工学部

- ・機械システム工学科の3回生学生（定員120名）と、応用物質科学科の3回生学生（定員100名）が正規単位化された講座で実習対象者となっている。

3. インターンシップ実習先企業

- ・県下の元気な中小企業群（大手企業も参画実績有）を開拓確保して、学生を派遣。

4. 今年2015年度支援事業の内容

- ・4～5月 学生の実習履修申込みと、当技術士会メンバーによる実習受け入れ企業開拓調整

- ・5/28、6/4の両日で実習受け入れエントリー全企業を、学生にPRする説明会を開催



(2015年度企業説明会の風景)

- ・6月 大学側による学生と実習受け入れ先企業のマッチングと必要手続き書類整備発送

- ・7/2 当技術士会による実習学生向け事前安全教育講座、危険予知訓練実習開催
 - ・終了後、学生、企業代表、担当支援技術士が参加して個別面談開催
 - ・さらに、先生方と企業代表、技術士も参加して懇談会も持ち、意見交換を実施



(2015年度事前安全教育講話と、危険予知訓練実習風景)



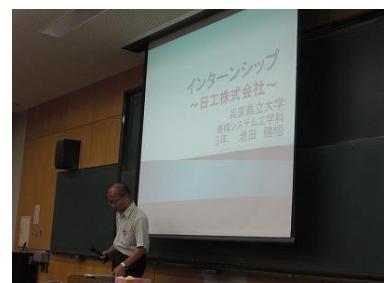
(2015年度個別面談風景。学生も安心して実習に取り組める)



(2015年度先生方、企業代表、支援技術士が参加して意見交換)

・8月中旬～9月中旬 2週間（10日間）のインターンシップ実習を各社にて実施

・9/17 インターンシップ実習成果報告会開催



（2015年度の実習成果報告会）



（2015年度最終の、先生方と技術士メンバーの意見交換会）

[支援事業の実績へ](#)

[インターンシップ手引書（企業向け）の抜粋へ](#)

◎兵庫県立大学のインターンシップ支援事業実績

事業年度	実習履修学生数	実習受入れ企業数	実習受入れ エントリー企業数
2015 年度	22 名	22 社	46 社
2014 年度	30 名	28 社	39 社
2013 年度	17 名	17 社	39 社
2012 年度	23 名	23 社	38 社
2011 年度	24 名	22 社	48 社
2010 年度	43 名	43 社	51 社
2009 年度	20 名	20 社	32 社
2008 年度	22 名	22 社	35 社
2007 年度	22 名	20 社	27 社
2006 年度	19 名	18 社	41 社
2005 年度	15 名	14 社	16 社

[ページトップへ](#)

[インターンシップ手引書（企業向け）の抜粋へ](#)